

音貝きらきらこども

－西部児童館放課後児童クラブとの連携型－

【開催状況】 週5日
 【活動場所】 余裕教室
 【参加人数】 平均44人
 【指導員数】 1日あたり4人
 【委託有無】 無

【連携型の概要及び特徴的なこと・工夫していること】

- ・ 年4回、交流イベントを2回ずつ子ども教室主催と児童クラブ主催で実施している。（子ども教室主催の場合は小学校体育館で実施）
- ・ 参加者は双方の児童を合わせて平均100名ほど。イベントの際は双方の指導員を増員し、子ども教室5名、児童クラブ4名で実施する。
- ・ 子ども教室でのイベント実施にあたっては、子ども教室指導員が児童館に出向いて事前打ち合わせを行っている。

【連携型で実施するプログラム内容】

- ・ ドッジボール大会、天下(※)大会、折り紙、うらうらゲーム、ボール運びゲーム
- ※ 天下はドッジボールのようなルールで、東郷町で古くから親しまれている遊び

【成果】

- ・ 同じ小学校の子供たちだが、普段と違う場所、友達と遊ぶと新鮮味があり、子どもたちにも大変好評。
- ・ 実施回数を重ねるごとに子ども教室、児童館双方の職員が互いのやり方を学んだり、意見を出し合ったり、新しい交流イベントの企画運営だけでなく、普段の単独イベントの企画運営にも良い刺激となっている。



【基本的なタイムスケジュール】

下校後～ 各活動場所へ児童入室
 30分後～ 交流イベント会場へ移動
 1～2時間 子ども教室・児童館交流イベント
 ～午後4時30分 各教室へ戻り通常活動再開

【課題等】

- ・ 普段の参加者の倍を超える人数を扱うため安全面をより深く考えて実施しなければならない。
- ・ 子ども教室と児童クラブの指導員が、互いの児童の名前や顔を把握しきれず、対応の際にぎこちなさを感じることもある。